

基本目標達成のための施策

第1編 未来を拓く人がはぐくまれています

(大綱)

[第3章] 専門的な教育の機会が確保され、高等教育機関等との連携や交流が進むまち

市民の身近なところで専門的な教育を受けることができ、高等教育機関等との連携や交流、学生等のまちづくりへの参加が進むまちを目指します。

第3章 専門的な教育の機会が確保され、高等教育機関等との連携や交流が進むまち

【基本方針】

市民の身近なところで専門的な教育を受けることができ、高等教育機関等との連携や交流、学生等のまちづくりへの参加が進むまちを目指します。

そのため、高等教育機関等との連携を進めながら、学部や学科などの多様化を促進し、専門的で高度な教育を受ける機会を確保するとともに、高等教育機関等の持つ知見を地域課題の解決に活かしていきます。さらには、まちづくりに高等教育機関等の学生等の参加を促すことを通して、まちを支える人づくりを促進します。

【現況と課題】

- 国においては、地方創生をより一層推進する観点から、地域と連携した課題解決や地域産業を担う高度な地域人材の育成等に取り組む高等教育機関等への支援の強化、雇用創出・若者定着に向けた取組みが進められており、高等教育機関等がまちづくりに幅広く貢献していくことが求められています。
- 本市には、帝京大学福岡キャンパスや有明工業高等専門学校をはじめ、4校の公立高等学校、3校の私立高等学校が立地しています。高等教育機関等の存在は、本市の教育水準の向上や教育を受ける機会の多様化に寄与するとともに、高度な専門教育による優秀な人材の輩出や地域の活性化等が期待されることから、今後も多様な学びの場の確保や充実が望まれます。
- 本市は、帝京大学や有明工業高等専門学校をはじめ、東京大学高齢社会総合研究機構と包括協定を締結し、教育や健康・福祉、空き家活用などにおける連携を進めています。今後も高等教育機関が持つ専門性、知見を様々なまちづくりの分野に活かしながら、新たな人材交流や産業の創出をはじめ、より幅広い分野における連携へとつなげていくことが期待されています。
- 帝京大学における学生ボランティア団体「安心安全ていきょう隊」による活動や、有明工業高等専門学校における空き家の調査や利活用、市営住宅のコミュニティ活性化などへの取組み、さらには、各高等学校の学生が主体となり、まちの魅力をPRする活動等が進められています。こうした取組みは、本市まちづくりの一翼を担うとともに、本市への愛着を醸成するなど、まちを支える人づくりに寄与することから、そのような機会の充実が求められています。

【施策推進の視点】

(視点1) 高等教育機関等との連携の推進

地域において高度な教育を受けることができる環境の充実を図るため、高等教育機関等との連携を強化し、学部や学科などの多様化を促進するとともに、同機関等が持つ教育資源の有効活用や情報の交流を推進します。また、市民がより高度な知識や情報を得ることができるよう、高等教育機関等における公開講座等の開催を促進します。

(視点2) 学生等のまちづくりへの参加促進

地域の取組みや行政が実施する事業への参加を促すことを通して、豊かな人間性と自主性、社会性を涵養し、主体的な活動などに結びつくよう人づくりを支援します。